

外国語科のベストミックス

～「外国語科で大切にしたい学び」と「学習者用デジタル教科書」の効果的な活用～ 東濃教育事務所

外国語科においては、「学習者用デジタル教科書」が提供されます。「学習者用デジタル教科書」の利点の一つは、児童生徒が音声機能を活用し、自己の理解度やペースに合わせて、語彙や表現の発音を確認できることです。児童生徒が学習手段を選択できるという利点を最大限に活かして、資質・能力の育成を図っていくことが大切です。

○活用事例①（小学校）

「学習者用デジタル教科書」の音声を聞いて発音練習

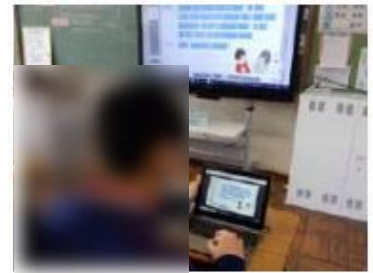
- 「学習者用デジタル教科書」のネイティブ・スピーカー等が話す音声を自分に適した速度で聞くことや聞き逃した部分等を重点的に聞くことによって、語彙や表現の習得が可能になる。
- 現在学習している単元だけでなく、既習単元の音声についても必要に応じて聞き直すことで、既習事項の定着につながる。



○活用事例②（中学校）

「学習者用デジタル教科書」のマスク機能を活用したリスニング活動

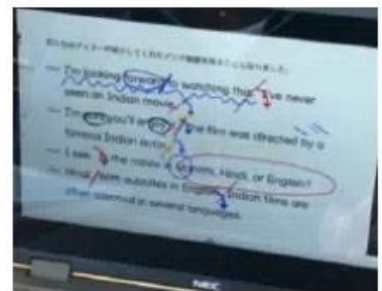
- 「学習者用デジタル教科書」のマスク機能を使用して、教科書本文を聞き取る。はじめは全文マスクの状態、2回目からは各自でマスクの量を調整し、リスニングを繰り返す。各自のペースや理解度に応じて調整することが可能になる。
- 音読練習の際は、各自の端末でオーバーラッピング等の練習を行うと、全員で練習を行う際に声が大きく、自信をもって発音することができる。



○活用事例③（中学校）

「学習者用デジタル教科書」のペン・スタンプ機能を活用した音読練習

- 音読の個別練習をする際に、「学習者用デジタル教科書」のペン・スタンプ機能を使って、音読時のポイントを記入する。
- 個別練習であるため、気になる箇所を何度でも聞き直すことができる。
- 「区切りに/を入れること」「強く読むところに´をつけること」「上げ調子か下げ調子か矢印を入れること」で、正確な音声の定着につながる。
- 内容を理解した上で、自分の言葉で伝える活動のために、「学習者用デジタル教科書」の画面上にキーワードを書き込むことができる。



【出典】

内田洋行教育総合研究所（2023）「令和4年度文部科学省委託『学習者用デジタル教科書による指導力向上事業』学習者用デジタル教科書の活用による指導力向上ガイドブック」

